

# 農業

手刈りから機械化へ

## 県下1位のさとうきび生産

温暖で地形が平坦な宮古島は、耕地面積が島全体の半分以上におよびます。その多くがサトウキビ畑で、その生産量は沖縄県全体の約4割を占めます。植え付けや収穫の機械化も進み、2018年現在で130台のハーベスタが稼働しています。



数年前まで50台だったハーベスタが、130台へ（2018年現在）。稼働率も8割に。



手刈りによるサトウキビの運搬



生後6か月から1年未満の子牛（素牛）の出荷が8割以上を占めるが、島で生まれ、肥育された宮古牛ブランドも注目されている。

# 畜産

## 期待される畜産

平成21年に子牛拠点産地に認定され、生産意欲も高まり、子牛セリ価格は年々上昇を続けています。また、島内で肥育した宮古牛ブランドのニーズも高く、新しい畜産の形として注目されています。

さらに山羊産地としての組織が立ち上がり、今後は山羊畜産の伸びも見込まれます。



収穫されたキビは製糖工場に運ばれ、分蜜糖（原料糖）となって全国に出荷される。

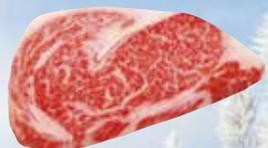


葉たばこ

## 日本一早い新蕎麦



新しく注目されているのがそばの栽培です。キビ刈り後の畑に種をまき、4か月で収穫し、日本一早い新そばとして出荷することが可能です。そばの栽培は地下水を浄化する働きもあることから、今後の成長が期待されています。



# Agriculture 野菜・果樹

## 成長する拠点産地作物

地下ダムは、水なし農業時代には難しかった新しい作物の生産を可能にしました。宮古圏拠点産地作物の品目も著しく伸び続け、新たな特産が生まれています。中でも、マンゴーはその質、量ともに日本一を誇ります。

パッションフルーツ



島バナナ



ほじょう

## 進む圃場整備

伊良部大橋完成で、伊良部島への送水が可能となりました。圃場整備やスプリンクラーの設置が、豊かな農業を支えています。



Sugarcane is one of the major agricultural products of Miyako Island. Sugarcane production on the island is the highest in Okinawa prefecture, accounting for about 40% of the entire Okinawan production. In addition, livestock breeding has also become important in recent years, and a large amount of Japanese beef is shipped to the markets in other areas. Also, after the underground dam was completed, tropical fruit cultivation, such as mango, has become very popular.

## 野菜・果樹の記念日

- トウガンの日(4/10)
- ゴーヤの日(5/8)
- オクラの日(6/6)
- マンゴーの日(7/15)
- パパイヤの日(8/8)
- イモの日(11/16)

ヘチマ



ゴーヤー



オクラ



紫イモ



かぼちゃ



ドラゴンフルーツ



シカクマメ (うりずん)



島ラッキョウ



サイインゲン



パパイヤ



トウガン



マンゴー



メロン



# 漁業

## 勇壮な一本釣りカツオ漁

県内で水揚げされるカツオの8割は、宮古島近海で獲れたものです。その漁法は豪快な一本釣り。伊良部佐良浜の漁港には、一年を通して、その日に獲れたカツオが水揚げされ、新鮮なまま出荷されます。



## 伊良部島だけに残るアギヤー漁

県魚グルクンを獲るのは、潜水して群れを追い込むアギヤー漁師たち。かつては沖縄各地でおこなわれていましたが、今では伊良部島にのみ残されています。カツオ一本釣りに欠かせない生餌とりも、アギヤーの技が支えます。

## 伝統漁、石巻落とし

池間島では、100年前に伝えられたという石巻落とし漁が今でもおこなわれています。サンゴの石にエサの魚を直接巻き付け、海の中へ落として深海の底物を獲ります。釣り竿もリールも使わないシンプルな漁法だけに、勘と経験が頼りです。



パヤオとはフィリピンの言葉で「いかだ」という意味。

## 豊かな海でパヤオ漁

島周辺には10数基のパヤオ(浮き漁礁)が設置されています。パヤオに生える藻に小魚が集まり、その小魚を追って大型の魚が回遊する仕組みを利用し、近海でのカツオやマグロ漁をおこなっています。伊良部島は日本で初めてパヤオ漁を始めたパヤオ発祥の地でもあります。



カツオを1匹ずつ、疑似餌のついた竿で釣り上げる。カツオが釣り針から離れ、空を舞う様子は勇壮そのものだ。



Fishing in Miyakojima is carried out actively using three kinds of traditional fishing methods: skipjack fishing for bonito, Agiya submersible fishing for double-lined fusilier, and Ishimakiotoshi fishing of Ikemajima. Ishimakiotoshi is a fishing method to catch the deep-sea fish by using the fisherman's intuition and experience and without using any fishing rods or reels.

# Fisheries

## 豊かな自然が育む海産物

冬場の温暖な気候を利用して、養殖業も盛んにおこなわれています。宮古島産の車エビやモズク、海ブドウは品質の高さに定評があり、全国から支持されています。

半年をかけて 20 センチほどに成長した車エビは、新鮮を保つため低温で仮死状態低温にし、活車エビとして出荷される。宮古島産の活車エビは首都圏の市場でも人気が高い。



### モズクの養殖

宮古島のサンゴ礁の海で育てられたモズクは、優れた健康食品としても注目されている。



### 海ぶどうの養殖

国内で海ブドウが自生できるのは宮古島が北限。自然に近い環境で育てられた海ブドウは、栄養価も高く粒が大きいと、高い評価を得ている。



### アーサ (アオサ) の養殖

大浦湾を中心に、2007 年からおこなわれているアーサの養殖。年々収穫量も増え、今では冬の風物詩にもなっている。

## 海業支援施設

伊良部島佐良浜漁港近くに、鮮魚販売や食堂、魚さばき体験などを併設する施設が誕生しました。漁業と観光をつなぐ拠点としても大きな役割を果たしています。



おーばんまい食堂



鮮魚販売



魚さばき体験

The mineral-rich sea and the strong sun of a tropical island also make it possible to carry out an active aquaculture industry. Miyakojima's prawns, Mozuku, and sea-grapes have good reputations for their high quality and have been enjoying support from all over the country.

# 伝統行事とイベント

宮古島には、各集落に独特の伝統行事が残ります。その多くは旧暦によって日取りが決まり、昔ながらの風習が今でも大切に守られています。また、美しい自然を背景にさまざまなイベントが年間を通して開催されています。1985年から始まった全日本トライアスロンはじめ各種イベントは、行政、民間事業者、島民が一体となって運営され、市民の連帯意識やホスピタリティを高め、人材育成にも大きな成果を上げています。

## 1月

## 2月

## 3月

## 4月

## 5月

## 6月

宮古島100kmワイドーマラソン

ロマン街道・伊良部島マラソン  
野原のサティパロウ 旧十六日祭  
比嘉の二十日正月

浜下り (サニツ・旧3月3日)

宮古島の海びらき  
全日本トライアスロン宮古島大会  
とうがにあやぐ大会 (カママ嶺公園多目的広場歌碑前)  
うえのドイツ文化村鯉のぼりフェスト

ハーリー (海神祭・旧暦5月4日・  
地区によって変更あり)  
ビーチバレー宮古島大会  
ツール・ド・宮古島  
MIYAKO ISLAND ROCK FESTIVAL  
宮古水まつり



### 宮古島 100km ワイドーマラソン

宮古島 100km ワイドーマラソンは、日本最南端のウルトラマラソン。市民ランナーを中心に県内外からの参加者も多く、地元ランナーとの交流の場にもなっている。



### 全日本トライアスロン宮古島大会

毎年4月に開催される全日本トライアスロン宮古島大会は、世界中のアスリートが参加し、選手たちと子どもたち、市民と交流の輪が広がっている。



ハーリー



### ビーチバレー宮古島大会

日本のベストビーチといわれる前浜ビーチを舞台に、2日間に渡っておこなわれるビーチバレー宮古島大会。大会後のビーチフェスティバルも人気。



### ロマン海道・伊良部島マラソン

海風をうけて、ロマン再発見をテーマにしたマラソン大会。伊良部島の自然の景観を楽しみながら走ることが出来る。参加者に配られる島の特産品も魅力のひとつ。

### ツール・ド・宮古島

2日間に渡っておこなわれるパワースポーツ、ツール・ド・宮古島。宮古島の美しい大自然の中を、サイクリングとロードレースで爽快に駆け抜ける。



### MIYAKO ISLAND ROCK FESTIVAL



# Event

Some unique traditional events still remain in various villages in Miyakojima. Many of them are held traditionally according to the lunar calendar. Various events are also held all the year round in the beautiful natural background. All the events, including the all-Japan triathlon that began in 1985, are operated by the administration, private enterprises, and the Islanders.

## 7月

サニツ浜カーニバル  
鳴りとうゆんみやへく方言大会  
宮古島夏まつり



サニツ浜カーニバル

下地与那覇湾で干潮時の広大な砂地を利用して綱引き、人間輓馬、水中駅伝、ビーチドッジボール、宮古角力等、多彩な競技がおこなわれ地元の人達に親しまれている「干潟の祭典」。



宮古島夏まつり

## 8月

うえのドイツ文化村ダンケフェスト  
オリオンピアフェスト  
宮国の大綱引き (旧盆の送り日)



池間のミャークツツ



なりやまあやぐまつり

## 9月

野原のマストリヤー  
池間、西原、佐良浜のミャークツツ  
来間島のヤーマスブナカ

## 10月

なりやまあやぐまつり  
カギマナフラン宮古島  
伊良部トーガニまつり  
宮古島市民総合文化祭  
島尻のパーントゥ  
宮古島ミュージックコンベンション



宮古の産業まつり

## 11月

クイチャーフェスティバル  
宮古の産業まつり  
エコアイランド宮古島マラソン  
KAZE JETSKI 耐久レース

## 12月

うえのドイツ文化村イルミネーション



KAZE JETSKI 耐久レース in 宮古島

2002年から始まった KAZE JETSKI 耐久レース in 宮古島。毎年、約 200 人前後の選手が全国から集まり、2.5 キロの距離を 2 時間で何周回するかを競い合う。



エコアイランド宮古島マラソン

宮古島の自然を満喫しながら走る、エコとスポーツを融合したエコアイランド宮古島マラソン。参加者とスタッフ、市民ボランティアとの交流の場にもなっている。